

平成26年度 英語 リーディング シラバス

科目名	単位数	学年	学期	対象	使用教科書・副教材
リーディング	4	3	全	普通科	Vivid Reading (第一学習社)

1. この授業のねらい(学習の到達目標)

英語を読んで、情報や書き手の意向などを理解する能力を更に伸ばすとともに、この能力を活用して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

具体的言語活動は次の通り。

- ア. まとまりのある文章を読んで、必要な情報を得たり、概要や要点をまとめたりする。
- イ. まとまりのある文章を読んで、書き手の意向などを理解し、それについて自分の考えなどをまとめたり、伝えたりする。
- ウ. 物語文などを読んで、その感想を話したり、書いたりする。
- エ. 文章の内容や自分の解釈が聞き手に伝わるように音読する。

2. 授業の進め方

スキミングを使って大まかに内容を取った後、内容に関する質問の答えを英文を読むことにより探させる。その後、重要文法事項や新出単語・イディオム等を確認し、内容理解させる。インターネット等も利用しながら、そのトピックの背景となる文化や歴史、人物、事象などの知識も習得させる。更に、授業者や他のクラスメートとの意見交換、プレゼンテーション等で他者とのインタラクション(相互作用)をし、内容理解を深めていく。

3. 学習の仕方

予習、復習をしっかりさせる。辞書も大いに活用させる。具体的にはまず英文を読み、分からない単語を文中の前後から想像し、大まかに内容を取らせる。新出単語や熟語、また既習のものであっても意味が分からない単語は調べて授業に臨ませる。授業で習った事項を自分のものになるまで練習させる。また、英語は音読も非常に大切なので、必ず声を出して、正しい発音を身に付けさせる。

4. 副教材

データベース 4500 基本英単語・熟語、Workbook C を使う。テーマに関する事や、その他の関連事項についても、より具体的に提示する。写真、ビデオ、インターネット等を大いに活用し、話題を提供し、読む意味づけを明確にし、生徒の興味や関心を喚起する。

5. 評価方法

評価は、中間・期末の定期考査と実力考査の成績を中心にして、ノート学習状況、プリントの提出状況、出欠状況などを加味する。提出物の期限も厳守し、評価の対象とする。授業中への積極的参加や発表時の主体的な取り組みなどの授業態度や意欲も評価の対象とする。授業態度、発問評価、課題などの提出状況、評価問題、定期考査の得点等を総合的に判断し、評価する。

6. リーディングにおける評価規準

評価の観点			
a. 関心・意欲・態度	b. 表現の能力	c. 理解の能力	d. 知識・理解
コミュニケーションに関心をもち、英語を読む言語活動を積極的に行い、コミュニケーションを図ろうとする。	文章の内容や自分の解釈が聞き手に伝わるように効果的に音読するなどして表現する。	さまざまなジャンルの英語を読んで、必要な情報や書き手の意向などを理解する。	英語を読むことの学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。